



姉妹都市である米国ケンタッキー州レキシントン市から、インターンシップ生として来町したケンタッキー大学生2人が、6月17日に役場静内庁舎を訪れ、大野町長へ意気込みなどを話しました。インターンシップ生は、町内でホームステイをしながら、6月18日から7

ケンタッキー大学生 インターンシップのため来町

月14日にかけて静内農業高校で英語の授業のサポートなどを行います。大野町長は「高校生に普段とは違う世界を教え、さまざまなことにチャレンジするきっかけを作っておいてほしい。滞在中はおいしいものをたくさん食べて楽しんで」と2人を激励しました。

令和6年度自治会長会議

6月4日に総合町民センターで三石地区自治会長会議が、6月5日に公民館で静内地区自治会長会議がそれぞれ開催され、行政からの連絡事項として、地域包括支援センターの取り組みやデマンド交通の実証実験、自治会アンケートの実施結果についての説明と質疑応答があったほか、防災などに関する要望や意見交換も行われました。



退任自治会長へ感謝状贈呈

長年にわたり自治会長を務められた方々へ、感謝状が贈られました。

【退任自治会長】※敬称略（ ）内は在任期間

静内地区	高砂団地	大空 登志彦	(19年6か月)
	豊畑新興	村田 信治	(12年9か月)
	旭町2丁目	塩田 智	(11年9か月)
	ときわ町4丁目	冬沢 忠男	(11年3か月)
	東静内	田村 孝重	(8年9か月)
三石地区	新生	扇 勇二	(8年9か月)
	本町第1	大島 保	(8年)
	こうせい町	原 昇	(5年3か月)
	梟舞1	故 村上 正憲	(13年)
三石地区	下富沢2	谷越 行男	(8年)
	越海町	土田 博	(8年)
	下富沢連合・下富沢3	觸澤 清	(5年10か月)



NEWS FLASH

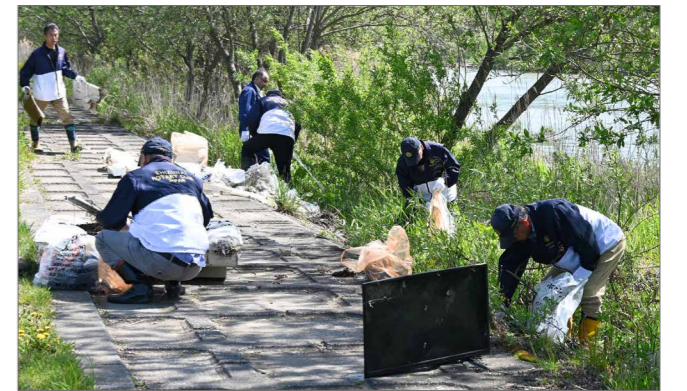
ニュースフラッシュ

海洋ごみ削減を目指して

静内川右岸で清掃活動



静内ロータリークラブ（在田恒昌会長）主催の静内川右岸清掃奉仕活動が5月15日に行われ、会員など約30人が参加しました。今回の活動は、ポイ捨てされたごみが排水溝や河川を經由し、海まで流出していることが世界的に問題となっている状況を受けて実施。参加者は、海洋ごみ削減に向けて、ポイ捨てされているペットボトルなどのほか、草むらなど、目の届きにくい場所にも不法投棄された家具や家電、タイヤなどの大きなごみも拾い集めるなど、清掃活動に汗を流しました。



初夏の植物の観察を楽しむ

博物館探索会

町博物館探索会「身近な植物の観察」が6月1日に開かれ、参加者10人が初夏の植物の観察を行いました。探索会は、「日高の森と海を語る会」の豊川敏さんを講師に迎え、二十間道路エントランス広場周辺の林を歩きながら植物を観察し、その特徴や町の産業との関わりについて解説を受けたほか、草笛などの体験も行いました。町外からの参加者は「解説を聞きながら観察できるのがとても良かったです。他の季節にも訪れて、花だけではなく実や種の観察もしてみたい」と話しました。



親子でミニトマトの収穫体験

農業体験イベント

小学生を対象とした農業体験イベントが6月1日に静内ハウス団地で開かれ、9組20人の親子がミニトマトの収穫を体験しました。イベントは、小学生に町の基幹産業であるミニトマト栽培への理解を深めてもらうことを目的に実施。参加者は、収穫作業前に「お店で売るとマトを収穫するので、自分もトマトもけがをしない・させないように」と説明を受け、丁寧に作業に取り組みました。参加した児童は「収穫は楽しかったけど、傷つけないように優しくするのが難しかったです。お店に並ぶのが楽しみです」と話しました。